

# 祝 4年連続 優秀賞

題目：『江戸東京野菜で6次産業化』  
～ 瑞穂町に咲かせる笑顔の花 ～

8月22日に、山梨県立県民文化ホール（甲府市）にて開催されました関東地区学校農業クラブ連盟大会に、本校食品科生徒6名が東京都代表選手として「プロジェクト発表会 分野Ⅲ類（ヒューマンサービス）」に出場しました。全国大会には進めませんでした。4年連続の『優秀賞』を受賞いたしました。



東京都代表として、他県代表と決してひけを取らない堂々とした発表でした



畜産科学科プロジェクトチームとともに、活動記録簿を持って記念撮影

## ＜ 関東大会での発表活動をふりかえって ＞

初めての関東大会を終えました。私たちのプロジェクトメンバーには3年生がおらず、誰も関東大会の経験がない中での挑戦でした。

楽しいこともありましたが、それ以上に辛い練習をのり越えてきたからでしょうか。大会当日は都大会に比べ、緊張せず発表することができました。今回は絶対に嘸まずに発表するという目標を自分の中では決めていました。この目標を達成し、今までの中で1番良い発表が出来たのではないかと私は思います。

発表者の一人としての意見ではありますが、見ている方々に自分たちの発表をすることができ、とても楽しかったです。だから、惜しくも全国大会行きのチケットは取れませんでした。私は後悔はしていません。悔しい気持ちよりも、皆でここまでやりきることが出来たという嬉しさの方が大きかったです。中には、足を引っ張ってしまった、悔しいという気持ちを持ったメンバーもいましたが、今年ここまで成長することが出来たのですから、来年こそは必ず最優秀賞を受賞することが出来るのだと思います。

また1年間、プロジェクト研究活動の時間を刻んでいき、今回学んだことを生かしつつ、来年に挑みます。

(1年 発表者)

都大会から関東大会まで日々練習を重ねみんなで協力してきましたが、結果は鹿児島には行くことが出来ませんでした。今まで私達の代までこのプロジェクトを引き継いで下さった先輩達、関東大会に参加することが出来なかったメンバー、そしてずっと私達を見守って来て下さった先生。希望を叶えることが出来ず本当に申し訳ありません。しかし、私としては全体的に今までで1番良い発表だったのではないかと思います。正直、私は合図がズレてしまったことが悔しかったです。もっと自分が頑張っていれば勝てたのに、と悔んでいるメンバーもいました。しかし、今回惜しくも最優秀賞を取ることが出来ませんでした。優秀賞を獲得することができました。私は優秀賞でもとても嬉しかったです！！

今までの私は、自分のミスで負けたなどと、いつまでも根に持っていたかもしれません。しかし、大会後の私が前に進もうと思うようになったのは、プロジェクトメンバーみんなのおかげです。私はこのメンバーと共に時間を過ごしたことで、過去にとらわれず未来に向かうようになりました。私はこのメンバーにずっと支えられてきました。いつかみんなに恩返しをしたい！そう思っています。

私はこのプロジェクトに入って本当に良かったです。沢山の食物と出会い、沢山の人と出会える。そして絆と愛が深まり、新たな希望と夢が生まれる。こんな素敵な部活動は初めてです。今まで沢山の笑顔と感動を与えてくれて、ありがとうございました。私はこのプロジェクトとみんなが大好きです。

(1年 発表補助者)

関東大会当日では良い発表ができていたので、行けるんじゃないか！と思っていましたが、やっぱり全国への道は遠かったですし、来年これよりも良い発表をしなくてはならないのか、と考えたら不安な気持ちがこみあげてきました。

来年のメンバーはまだ誰になるか分かりません。もしかしたら私になるかもしれませんので、本当に不安で仕方がありません。来年もこのメンバーで関東大会に臨めるので、最後はみんなで全国に行きたいと思います。もしスタメンが私になったら、今回よりも何十倍も練習量を重ねたいです。

先生と2年生、第1期の先輩や第2期の先輩、その他の皆さんに迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、みんなの期待を胸に、全国突破したいです。

**(1年 発表補助者)**

関東大会を終えて、たくさん感じたことがありました。最初に自分の情けなさ。次にメンバーへの接し方。そして、先輩の偉大さ。最後に、後悔と感謝の気持ち。この4つです。

本番前日は緊張と焦りで眠れない。本番は焦りすぎて、忘れてしまったことばかり。緊張で手は震えてしまって、スライド操作は失敗ばかり。もう情けなくて。申し訳なくて。そして自分の不甲斐なさにガッカリしました。しかもメンバーは誰一人として私を責めず、余計に情けなさを感じました。

次に、私以上に緊張している発表者を支え、いつ発表者に回るかわからなくてドキドキしている補欠者に手を差し伸ばしてあげること、それがスライド者の役割であり、スライド者にしかできなかったことだと思いました。しかし今回、私には何もできず、メンバーへの接し方を考え直すことが大事なのだと感じました。

そして今回、多くの先輩方に支えられ、力を貸していただきました。社会人でもある第1期リーダーには2度も来校してもらい指導していただきました。第2期の3人の先輩にも指導していただきました。その中で、私と同じスライド担当だった第2期の先輩とは、スライドとの向き合い方の違いにとっても大きな差を感じました。

歴代の先輩方もすごいと思いましたが、何よりも2年生の偉大さを感じました。発表者でもある先輩は、あんなにも練習ではぼろぼろだったのに本番にはどうにかするその強さ。諸事情で補助者にまわった先輩は、発表練習に参加した日からメンバーを一つにまとめてくれました。こんなにもすごくて頼れる先輩方が、一緒に全国大会出場への夢をかなえようとしてくれる。こんないい先輩を絶対に後悔で終わらせて欲しくない。そう心から思いました。

最後に、後悔と感謝の気持ちです。今回私は満足のいかない発表で終わりました。後悔しか残っていません。しかし、たくさんの人たちに多くの時間を割いてまで協力していただき、支えていただき、今は感謝の気持ちでいっぱいです。

この後悔と感謝の気持ちを忘れずに、諸先輩方の思いを背負って、来年こそ全国に行き、感謝の気持ちを結果にして伝えたいと思います。

**(1年 発表補助者)**

結果は優秀賞に終わってしまいましたが、正直今すごく悔しいです。泣いてしまうぐらい悔しいです。先輩方がどれだけ悔しかったのかが分かった気がします。

来年は、新しい元号での大会です。新元号での初の大会、そこで結果を残すことが私たちの目標だと考えています。都予選会、関東大会（神奈川県）を勝ち上がって、全国大会（山形県）にすすみたいと思います。先輩たちで成し遂げられなかったことを、私たちの代で成し遂げて見せます！今後ともご声援お願いいたします！

**（2年 発表者・代表者）**

今回の関東大会を通し、僕の中で大きな力と自信になりました。そして、参加メンバー6人の心の成長が明らかに見られる大会にもなりました。

私的には発表者の二人とスライド担当者が最高状態で連動し、質疑応答も的確に回答できており、発表練習も含めて一番納得のいく発表でした。結果的には全国大会には行けませんでした、十分満足できましたし、貴重な経験にもなりました。併せて、最優秀校にあり僕たちには足りなかったことにも気づかされました。

「協調」「理解」「協力」「実行」この4本柱を軸にこのような経験ができたこと、今までもこれからもこの活動を指導してくださる先生とプロジェクトメンバー、この活動を支援してくださっている瑞穂町の人々、プロジェクトOB並びにOGの方々、その他多くの方々への「感謝」と「お礼」を忘れないように、今まで以上の良いプロジェクト活動を築き上げていきます。

**（2年 発表補助者）**